

高精度のスポーツ性

ポルシェデザインDNAが鮮明に表現された外観を保ちつつ、明らかに新しい要素が採り入れられた新型911は、さらにワイドになり、堂々とした筋肉質の姿に磨きがかかっています。新しいLEDヘッドライトと、911の初期世代のデザインを引き継いだボンネットは、革新的でカッティングエッジの形状を、ポルシェに典型的でさらに進化したデザイン上の特徴と結びつけています。最大45 mmワイドになったフェンダーと拡大したリアホイールが、新型911をさらにスポーティーに見せています。新しい連続的に広がるライトストリップ、ワイドなスポイラー、そして特徴的なハイマウントストップランプを備える新構成のリアが、ワイド効果を強調しています。

Gシリーズのデザインを引き継いだボンネット

フロントセクションはGシリーズの911に見られる伝統的なスタイルを採用しており、前方に向かって長く伸びているボンネットには、ウインドシールド前に特徴的な傾斜が付けられています。その両者がフロントセクションをすらりと見せ、ダイナミックな印象を醸し出しています。同時に、完全新開発のLEDヘッドライトは、911の技術的進歩を示しています。911に特徴的な丸型で直立したLEDヘッドライトは、ほぼシームレスにフェンダーに溶け込んでいます。とりわけ、オプションのLEDマトリックスヘッドライトの技術志向のデザインは、視覚的なハイライトになっています。例えば、デイトタイムランニングライトの最適化を通して、911の存在感がさらに高められています。立体的なデザインのテールランプにおいても、特徴的な4灯式ライトが採用されています。フロントエアインテークでは、ブラックのインテークトリムパネルが端から端まで伸びているため、一体感のあるデザインが実現しています。ここでも水平方向のラインが圧倒的な存在感を示します。フロントライトは明らかにスリムになりました。

フラットなサーフェスのワイドボディ

新型911は先代モデルと同じホイールベースを維持したまま全長が20 mm長くなり、とりわけ大幅にワイドになりました。フロントアクスルの全幅はどちらのモデルでも45 mm、リアアクスルの全幅はカレラSで44 mm拡大しています。これにより新型911は特にフロントから見てよりフラットな印象を与えます。フロントのモダンなストレートラインはサイドにも一貫して引き継がれています。ドアはフロントとリアフェンダーの間にシームレスに嵌めこまれているように見えます。直線的でシンプルに溶け込んでいます。先代モデルよりも大幅に深く組み込まれたサイドの凹部は、重心が低くなったように見える効果を生み出し、新型911の突き進むような外観を強調しています。1インチ拡大したリアホイールが、この印象を強めています。接近すると電動で開く面一のドアグリップ、そしてエッジのあるエアロダイナミクスの中で有利なドアミラーのデザインが、落ち着いた、力強く設計された車両サイド部を締め括っています。同様に新設計されたドアミラーは風切り音が最も低減されるように最適化されており、オプションで電動格納が可能です。標準装備ではブラックのアンダーシェルの、オプションで車両カラーも用意されます。

新しいLEDライトアーチを備えるリアセクション

力強いエントリーと低いエンドを備えたリアセクションは、初代911に見られる特徴を示しています。新しいワンピースのLEDライトアーチと、低く下方に配置されたナンバープレートは、リアセクションをさらにドラマチックなものにし、この新世代と先代モデルを明確に差別化しています。高光沢の黒いリアトリムパネルにより、リアガラスとエンジンフードでデザイン上の一体感が生まれており、拡大された展開式のスポイラーがそこにつながっています。垂直方向に配置されたエアインテークのフィン、リアガラスのラインにアクセントを与えています。中央に配置されたハイマウントストップランプもフィンの

方向と一体化しています。これらはリアスポイラーが展開すると覆われるため、スポイラーには第2のブレーキライトが組み込まれています。

2つのモデルで違いを示す特徴として、後輪駆動モデルはブラックのフィンを有する一方、全輪駆動モデルはエンジンフードにクロムインサートを備えています。エアインテーク直下に位置するリアスポイラーはさらにワイドになり、テールライトのほぼ外縁まで延びています。その結果、各サイドに1つしか継ぎ目がないため、リア上部面の滑らかさが増した印象を受けます。同時に、新しいリアスポイラーでは空気が流れる面が25パーセント拡大しているため、エアロダイナミクス特性も大幅に向上しています。

リアで目を引くのは、新しい連続的なLEDライトアーチです。このライトストリップを遮る合わせ目や継ぎ目はありません。そのため新型911は、夜間の走行中でもすぐに見分けることができます。リアライトを統合することで、ウィンカーデザインの redesign に成功しました。ウィンカーはライトストリップを取り囲むことで視覚的な安定感を生み出しています。それと同時に、立体的に刻印されたPORSCHEのレタリングの枠になっています。その下にはモデル名が新デザインのフォントで示されています。このフォントは、ポルシェが70年代に採用していたスタイルに対する現代的オマージュです。

リアエプロンでも、一体感のあるデザインが実現しています。これは、ナンバープレートを下に移動してエグゾーストシステムのテールパイプ間に配置したことで可能になりました。これらは面一でリアセクションに統合されているため、下端に至るまで遮るもののないスムーズな外観になっています。リアセクションの黒い領域にはリフレクターと外側のエアアウトレットが一体化されているため、同領域の落ち着いた直線的でワイドな姿が一層引き立てられています。

完全新開発のインテリア

完全に新しいインテリアは911の進化の歴史にマイルストーンを打ち立てました。新型コックピットは、最初の911世代をすでに際立たせていた美点を思い起こさせるものです。それはすなわち明瞭さと明確な形です。伝統的なアナログレブカウンターを挟む形で、浮いているように見えるフレームレスの自由形状ディスプレイが2つ配置されています。ダッシュボードは911の原型のように、2つの水平ブレード面の幅全体にわたって広がっています。中央では、5つのクラシックな形のトグルスイッチを有するコントロールパネルが、タッチパッド一体型センターコンソールに結合しています。イグニッションキーはもはや存在せず、新型911は標準装備でキーレスゴーおよびエンジンスタート用回転ボタンを備えています。このボタンはもちろんステアリングコラムの左側に付いています。要約すると：アナログの精確さとデジタルの統合がポルシェらしく融合しています。

ダッシュボードには、ルーフのようなウィングの下にブラックで際立つ水平の操作面が備わっています。この操作面はドライバーの目の前に、5つの典型的なポルシェ丸型メーターが中央にアナログレブカウンターがある状態で配置されています。7インチの自由形状ディスプレイのむき出しのガラスエッジがその優雅さと軽やかさを強調しています。

その横には、新しい10.9インチのPCMタッチスクリーンが面一に嵌めこまれています。操作ユニット前の装飾エリアはハンドレストとして使用でき、ドライバーは素早く、脇見運転をせずに操作することができます。その下には5つのボタンからなる新しいスイッチユニットがあり、これを使用して重要な車両機能にダイレクトにアクセスすることができます。これらは露出した状態であるため、直観的に操作できます。装備項目に応じて、ここでは例えばボタンでウェットモードを有効にしたり、PASMショックアブソーバーの設定を硬めにしたりすることができます。中央のエアアウトレットの先にあるセンターコンソールでは、高光沢仕上げのタッチパネルがPCMディスプレイと対応しています。

新しいオプション：イオナイザーで空気をより清浄に

新機能には、オートエアコンの気流内にあるオプションのイオナイザーも含まれます。これは空気中に含まれる細菌およびその他の有害物質を減少させます。車内のエアクオリティが改善されることで、体調を顕著に向上させることができます。

ポルシェ デュアルクラッチトランスミッション（PDK）用セレクターレバーはその機能が減少されたことで、従来よりも大幅にコンパクトになりました。これは、新型8速PDKを完全に電動制御にすることで実現しました。デザインテーマとサーフェステクスチャは触覚によるスイッチの構成に合わせられています。明瞭に構成され純粋に簡素なドアパネルは優美さを高い機能性と組み合わせ、多くの格納スペースを提供します。

新しい世代のステアリングホイールは、軽やかさと正確さというポルシェの原則をさらに簡明かつ魅力的に具現化しています。多機能操作エレメントはステアリングホイールに繊細に嵌めこまれ、軽やかさを強調しています。新たに最適に構成されたモードスイッチはさらにモダンになり、簡単な操作を提供します。ステアリングのACCレバーも完璧な機能と人間工学の観点から新たに構成されました。オプションとして、GTステアリングホイールが様々な仕様で装着が可能です。ステアリングホイールはどれも直径360 mmです。

快適性が増した次世代のシート

シートも同様に根本的に改良されました。新設計では軽量構造により、約3 kgの軽量化に貢献しています。形状を変更したことで、ショルダージェリアのサイドサポートが大幅に改善されています。シートがこれまでより5 mm深く配置され、シート面がわずかに薄くなったにもかかわらず快適性を大幅に改善することができました。シートでも初期の911の使いやすさが引き継がれており、クラシックなレザーストラップを操作することで人間工学的に容易に折り畳むことができます。新しいシームパターンと完全新型のバックシェルの組み合わせが、これまでと大きく異なる外観を生み出しており、インテリア全体に調和しています。新型911のリアシートシステムも改善されました。バックレストの高さとシート面の幅がそれぞれ20 mm拡大しています。

同様に一貫して新しく構成されたドアの内装は、ダッシュボードの水平ラインを規範にしています。ハイグレードに加工されたドアのメタル製トリムは、新しく設計されたドアオープナーに流れるように移行することで、見た目の一体感を醸し出しています。装飾面の形状が新しくなり、エクスクルーシブ・デコレーションのラインナップが幅広く提供されているため、多種多様なパーソナライズが可能です。

新型911ではポルシェで初めて、パーシャルレザーインテリアがブラックまたはスレートグレーでオプションとして提供されます。シートセンター、シートサイド部およびヘッドレスト表側は滑らかな本革になります。同じ素材でスイッチパネル上部およびドア枠が覆われます。先代モデルのように、引き続きオプションでフルレザーインテリアも入手可能です。また新たに、希望に応じてステッチをコントラストカラーに変更もできます。ステアリングホイールにも同様にコントラストカラーのステッチが施されます。レザーインテリアはブラック、スレートグレー、グラファイトブルー、またはボルドーレッドのカラーで提供されます。